

小郡市地域おこし協力隊による
活動報告コラム。



最後は私も一杯。
皆さんのおかげで
格別の味でした！



宮本亜里沙(みやもとありさ)

1989年生まれ。高校卒業後、地元熊本を離れ、東京で飲食店のイベント企画や舞台制作を経験。移住相談センターで小郡市職員と出会い、それをきっかけに小郡市の地域おこし協力隊に応募。夜は小郡市内酒場エリアに出没中！

f 小郡市地域おこし協力隊
here.is.ogori
tw 小郡市地域おこし協力隊

日々の
活動を
配信中！



Ogestagram

日々の活動記録。
インスタグラム配信をピックアップ！



おちょこを合わせてカンパニー！インフォメーションに立ち寄り、「これから5軒目に突入します！」とご報告してくださる方もいらっしゃいました♪



インフォメーションでは、手作りの「おちょこホルダー」を展示販売しました。どれも1点モノとあって、真剣に選んで購入する方の姿も！



最後に、チケットを買いにいらしてくれたお客さま。なんと、楽器を持って、歌を歌つてくれました。ハッピーなひととき、ありがとうございました！



小郡のミニチュア雑貨の作家、momoharuさんにオーダーメイドで作ってもらった“とっくり&ビール”的イヤリング。気づいてくれた人、多数！



受付終了後の取材中、お店で撮影させていただいた1コマ。夜9時を過ぎていましたが、たくさんの参加者が集まりワイワイ楽しそう！



ちょうど、おちょこサービスを受ける瞬間に遭遇！日本酒をおちょこに並々と注いでくださるスタッフに、思わずニンマリ笑みがこぼれてしまふのでした。



まちと 暮らして シゴト。

2

月1日、2日は「おごおり結び酒」を開催し、

2日間で延べ358人にご来場いただき、駅前が賑わいました。この試みは、小郡で飲食店を営む人や市内外のお客さまとのご縁を結び、小郡のファンを増やしたいという思いでスタートしました。

訪れた方からは、「行ったことのなかったお店やおいしい料理、気さくな常連さんなど、その魅力に触れ、また訪れたい」と思った、「知らない者同士がイベントを通じて気兼ねなく会話し、楽しくお酒を飲むことができた」など、主催者としては大変嬉しいお言葉

を聞くことができました。一方、多くの方にお越しただいた結果、「飲食店になかなか入ることができなかった」というお声もあり、一部でご迷惑をお掛けしてしまい、課題も残りました。

ただ、イベントを実現できることで、こうした取組に対する多くの期待を肌で感じることができたことは何よりも

成果であり、きっと次に繋がるものと思います。2日間を

通して、新たに結ばれたご縁が育み続け、小郡の魅力がどんどん広まっていく嬉しさ

です。参加してくれた皆さんありがとうございました。

人と美酒と美食が結ぶ“ご縁”に感謝！